



第21代
大村市長

松本崇市長就任あいさつ。

市長が考える「大村の未来」とは――。

松本市政、集大成

に向けて

日本でもっとも住みたくなるまちへ

決意を新たに

このたび、多くの市民の皆さまから「信任をいただき、第21代大村市長として引き続き市政を担わせていただくことになりました。

これからの大村市のさらなる発展に向けた重要なこの時期に、市政を担わせていただくという職責の重さに、身の引き締まる思いと決意を新たにしているところで

す。
私はこれまで同様、「市民が主役」「対話の市政を」を基本に、「日本でもっとも住みたくなるまち」、「福祉のまち 日本」をめざして、

市民の皆さまの期待に応えるべく、全力で市政運営に取り組んでまいります。

市政の課題に 積極的に取り組む

私が市長に返り咲いた平成14年は、市の財政はひつ迫し、ポート事業や市立病院事業は赤字経営であった中、職員と二丸となって行政改革、財政健全化などに全力で取り組み、市民や市議会の皆さまのご理解、ご協力により、いずれも再生を果たすことができました。

しかしながら、いつ何どき、財政状況が厳しくなるかもしれないことを念頭に、今後も引き続き行政改革・財政健全化に取り組んでまいります。

一方、特に今後の大村市の発展に大きく影響する新幹線新駅周辺のみちづくりや大学の誘致、全国でもまれな県立・市立二体型図書館建設、国道34号大村与崎諫早本野間の4車線拡幅の早期事業化など市政の課題に対して積極果敢に取り組んでまいります。





柱となる5つの政策

私は、次の政策を大きな柱として取り組んでまいりたいと考えています。

- ① 国道34号大村・諫早間の4車線拡幅の早期事業化や、新幹線「新大村駅」周辺まちづくりの整備など、便利で暮らしやすいまち、活力あるまちづくりの推進
- ② 新しい図書館の建設と新たな大学の誘致を目指すなど、教育・文化の魅力あふれるまちづくりの推進

明るいまちの未来へ

- ③ 新工業団地の整備と企業の誘致で若者たちが働ける雇用の場の創出
- ④ 農業・漁業の基盤強化と後継者育成に力を入れるなど、一次産業の振興
- ⑤ 小学生までの医療費無償化や中学校給食センター建設への取り組みなど、子育て支援の充実

私は、この大村市が、若者がいきいきとした笑顔で、また、高齢者や障害者など全ての市民が安心して暮らせるやさしいまち、「活力にあふれたまち」にしていきたいと考えています。そして、次世代を担う子どもたちが、さらに元気な大村市を引き継いでくれることを期待しています。

どうか、市民の皆さまのご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、明るいまちの未来を一緒に築いてまいりましょう。



↑ 職員に対し、「市民の期待に応えられるよう、市民目線で力を合わせて課題に取り組んでいこう。」と訓示。



↑ 福岡選挙管理委員会委員長から当選証書が読み上げられ、交付を受ける松本市長。



↑ 当選後の登庁を出迎える市民の皆さんや職員。松本市長は玄関で花束を受け取り、あいさつしました。

